

「一流になりなさい。それには、一流だと思ひ込むことだ」という本からです
簡単なことだよ。好きにさせることだ。

この人間はできるな、と見ていてもなかなか芽の出ないコンサルタントがいました。話をしていると、キラキラと輝くのですが、どうしても続かないのです。

芽を出させるのには、どうすればいいのだろうか、その夜考えていました。部長になってすでに五年。ある程度、自信もついてたつもりでしたし、成績も悪くはありません。A君が、あと一歩伸びてくれればなと、気になっていました。「仕事を好きにさせればいいんだよ」あっさり船井先生に言われました。会長車で先生と一緒に講演会場へと向かう道中でのことです。

仕事で成功する人、一早く開花する人には、どんな共通点があるか？それは、仕事が好きで人です。ある進学塾のコンサルティングのなかで、同じことを教えられました。勉強のできる子になるには簡単な方法がある、というのです。

まず母親が、小学校入学から三週間ほどは家にいること。そして子供の帰りを待つのです。「帰ってきたら、勉強しなさいなんて言うことはない。まず、ランドセルの中の教材をすべて出させて所定の場所に置かせる」これが、整理整頓グセ。遊びに行きたい子供に、一分だけ時間をちょうだいと言って質問する。「今日は何が一番楽しかった？お母さんに教えて」そう尋ねるのだというのです。「算数なんて期待しない。体育、図工、なんでもいいんだ。答えたら必ずこう言ってあげる。そう、よかったわね。得意なのは体育なのね、とね」そうしてから、飛ぶように遊びに出る子供を見送ればいいのです。

次は寝る前です。「明日は何の科目が一番楽しみ？お母さんに教えてと聞くんです。体育と答える。そうしたら言うんです」そう、体育が好きなのね。じゃあ、明日どうだったかまたお母さんに教えてね。と。「それで十分です。はじめから、勉強好きの子なんていないんです。整理整頓グセ、振り返るクセ、そしてお母さんに話そうと明日一所懸命頑張る気持ち。それで十分です」なるほどなど、思います。船井先生が続けて教えてくれました。「好きにさせるにはな、夢を聞いてあげるんだ。

そして何か手伝えることがあれば言ってもらおう。あとは、ほめ続ければいい」仕事のできる人間と、仕事が好きで人間。どちらが伸びるか？それはいうまでもなく、後者です。好きな人間が、一番大きな伸びしろをもつのです。「リーダーの仕事のほとんどは、仕事を好きにさせることかもしれんよ。そのために成功させてあげる」夢を共有する。大義名分を共有する。そして、方法論を共有する。一人ひとりの部下とそのことに時間を惜しまず、臨むことの大切さを、あらためて確認していました。

「仕事好きには、かなわないな。仕事が趣味になれば一番だけど、それはなかなかね。まず、自分の夢を語らせて、君と共有することだよ」夢に近づく近道はありません。でも夢をもつことが、自分を変えていく原動力であることは、長男由樹から教えられています。そのときはまだそんな大切なことを、しっかりと知る以前でした。

でも。夢を語り合い、そこに近づく道を、どんな遠い道でもいいから話し合うこと。それがリーダーの仕事かなと、考えはじめてはいたようです。ワクワクする未来。自分で恋のできるような未来を、語り合い確認し合うことが好きになる入口だな。それがA君とのスタートだ。いまも、そう思います。好きになるには、まず夢づくりなのです。

仕事で成功する人、いち早く開花する人には、どんな共通点がありますか？

()